

株式会社マキシンコー

減速機やジャッキの特注を 短納期対応し産業を下支え

- 海外可
納期
企画力
コスト
オンリー
メイド
試作可
量対



ウォーム減速機の内部

業務内容

回転寿命から
ロケットまで幅広く

モーターの回転速度を減速して必要トルクへ増大するウォーム減速機や、モーターの回転運動を直線運動に変換するスクリュジャッキ、ギアモーターなどが主力。そのほか、ロータリーストッカー（縦型回転式自動棚）などマテリアルハンドリング製品も製造している。牧村順二社長は「主力の減速機やジャッキは機械要素部品のため用途が幅広いのが特徴」と語る。一般産業機械はもちろん、身近なところでは回転寿命のコンベア、壮大なところでは人工衛星打上げ用ロケットの搬送装置やパラボナアンテナ駆動部で使用されている。

強み

豊富な標準在庫
メンテナンスサービスでも定評

シリーズ化によって豊富な標準在庫をそろえ、ウォーム減速機だけでも3万6000点と競合他社を圧倒している。特にユーザーの間で評価されているのは、メンテナンスサービス力と、売上高の80〜90%を占める特注品への対応力。軸の長さや穴位置など細部設計に対応しながら短納期で納入する。台風で水没した設備を稼働させるためにすぐ減速機が欲しいという顧客に、仕掛け部品を駆使して社員が特注減速機を完成させ、翌日納品したこともある。牧村社長は「顧客に喜んでもらえたことが今でも記憶に残っている」と笑顔を見せる。

開発力

減速機の可能性を
とことん追求する開発

設計レイアウトが容易で、コンパクトな機構で大きな減速比が得られるなどメリットが多いウォーム減速機だが、これまででは弱点として伝達効率の低さがあつた。そこでウォーム部の材料を特殊アルミ青銅から高力黄銅に変更し、精密加工によって面粗度を向上。伝達効率を従来比10%高めたシリーズを展開している。また、顧客の機械設計を短縮するニーズに対応するため、モーターと一体化したギアードモーターも展開中。その一方で、自社における開発期間の短縮と精密化を目的に、大学との強度計算ソフトの共同開発に着手するなど、常に活発な開発が進んでいる。

今後の展望

超軽量型ウォーム
減速機で市場を切り開く

約10年をかけて開発した超軽量型ウォーム減速機を平成27年12月に発売した。ケーシングを鋳鉄からアルミダイカストに変更。芯間50mmサイズの場合、1個10kgだった減速機は半分の5kgとなった。牧村社長は「長らくユーザーから製品化要請が続いていた」という超軽量型を市場投入することで、多くの顧客にメリットが生まれると見ている。例えば舞台装置。多ければ200個が天井部に設置される緞帳用減速機の重量が半減すれば構造設計が楽になる。また車載機器の軽量化など潜在ニーズは極めて多い。



新製品の超軽量型減速機

COMPANY PROFILE

株式会社マキシンコー

大阪27

ISO 9001

当社の歴史

歯車販売を祖業とし、歯車製造、歯車を組み合わせたウォーム減速機へと事業を発展させてきました。また、その後はウォームギアの技術を活かしてスクリュジャッキやベベルギアボックス、自動収納棚などマテリアルハンドリングを開発して参入し、バランスを取りながら社業範囲を拡大しています。

ウォーム減速機で豊富な標準在庫をそろえるだけでなく、小ロット・短納期の特注品対応を得意としています。

代表取締役社長 牧村 順二さん



■主な事業内容

各種変減速機、スクリュジャッキ、物流機器などの製造・販売

■主な取引先（納入先）

伝導機器・機械工具商社、建設機械メーカー、製鉄用製造設備メーカー、舞台装置メーカー、工作機械メーカー

住所 / 〒542-0012
大阪市中央区
谷町7-3-4-206
TEL / 06-6763-2101
FAX / 06-6763-2100
創業 / 昭和15年1月
設立 / 昭和38年10月
資本金 / 2億7,670万円
従業員 / 188名

<http://www.makishinko.co.jp/>